

登録コード	J5390300	開講年度	2026					
授業科目	都市・まちづくり演習					担当教員	LEE HYUNUK	
英文授業名	Seminar in City and Community Design					副担当		
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	木曜・3時限		対象学年	(20・23カリ対象科目) 経：3年
講義室	経法502演習室			授業区分	演習	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					⇔	【授業の達成目標】	
	経法20加							
	現代社会が抱える課題に対して、社会科学の専門性を軸足とする解決方法を提案し、自然科学と協働しながら課題解決に導く力を身につける。					⇔	都市・まちづくりにおける課題を主体的に解決できるようになる	
	経法23加（2026改）・応用経済，経法23加・応用経済							
	専門知識を応用・実践する力として、計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価，実験経済学による社会制度の機能の検証，医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘，法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証，などのスキルを習得し，経済の実情に即した政策提言，あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。					⇔	まちが抱えている衰退の問題において、調査による分析を行い解決策を探る。さらに現場での活動に通じて、まちづくりの方向性を提示する。	
	環境問題，少子高齢化，自然・経済リスクの管理，コーポレート・ガバナンス等の法制度がかかわる問題などについて，現実					⇔	まちが抱えている衰退の問題において、調査による分析を行い解決策を探る。さらに現場での活動に通じて、まちづくりの方向性を提示する。	
(2)授業で学べる「テーマ」		地域運営、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要		現在、都市社会やまちづくりは人口減少、国際化、情報化等が進行する中で大きく変化しています。この授業では、「都市・まちづくり」に関する統合的・実践的知識を身につけると共にこれからの課題を主体的に解決できることを目的とします。 都市・まちづくりの現場を理解するために、授業では、地域を理解するための以下の内容を段階的に行います。 1．地域分析：統計データの分析やインタビュー調査方法の学習を行います。 2．地域調査：地元の住民、企業、行政職員に対して調査 3．成果共有：実践の内容を整理し発表						
(5)授業計画		第1回～4回：地域分析学習（4回）：教室 第5回～8回：地域調査と見学（都市・まちづくり活動の調査） 第9回～11回：地域調査内容報告会 第12回～14回：まちづくり活動 第15回～16回：授業アンケート、 ＊活動発表とレポート提出は16回発表の2日後に提出 地域交流と成果共有（11月）						
(6)成績評価の方法		地域分析の結果，資源活用の貢献度，成果発表，レポートにより評価します。						
(7)成績評価の基準		以下の基準を1項目満たしていれば「標準的である」，2項目満たしていれば「やや上にある」，3項目満たしていれば「かなり上にある」，4項目満たしていれば「卓越している」 ・グループワークにおける貢献度が高い ・成果物の内容における論理性が優れている ・成果物の内容に発展性が認められる ・演習中の活動に積極性が認められる						
(8)事前事後学習の内容		演習の履修者は，演習期間に先立って行われる事前講義に参加する必要があります。						
(9)履修上の注意		履修可能人数：都市・まちづくり活動、宿泊施設の収容能力や管理上の制約から，最大で14名程度になります。履修希望者多数の場合は面接により選抜します。						
(10)質問,相談への対応		演習参加にあたって分からないことがあればメールで相談してください（メールアドレスは履修案内に掲載されています）。						
【教科書】		特になし						
【参考書】		特になし						